



希望記事

- ・定年後、現役時代の行政の経験を生かして活躍する方の特集。
- ・定年後のライフプランニングをもっと取り上げてほしい。
- ・退職後の過ごし方として、具体的なロングステイを取り上げていただければと思います。

今回からスタートしました「私のセカンドライフ」のコーナーでは、退職者の方のさまざまなライフスタイルを取り上げていく予定です。どうぞお楽しみに。

なお、ロングステイについては、80号（2007年2月号）「海外長期滞在を考える〜タイバンコクにおける長期滞在〜」で取り上げています。

- ・公務員に資産運用は必要かどうか。公務員も給料が上がるどころか下がっています。しかし、資産運用するには、ためらいがあります。資産を減らさないために何もしないほうがよいか。それともリスクをとったほうがよいか。どうすればよいでしょうか。

資産運用については考え方も多様で、リスクも伴います。当誌として明確な答えは出しにくいテーマですね。

- ・公務員の自己啓発特集。役所でやっているクラブ活動や勉強会、資格取得などの取組み。ボランティア、まちづくりなどへの参加事例。

本誌のCareerのコーナーでは、自己啓発に取り組んでいる方をご紹介していますのでご覧ください。また、自己啓発などの良い事例がありましたら、当編集部まで一報ください。

- ・交流分析などから自己理解や人とのかわり上手になるポイントを紹介して欲しい。

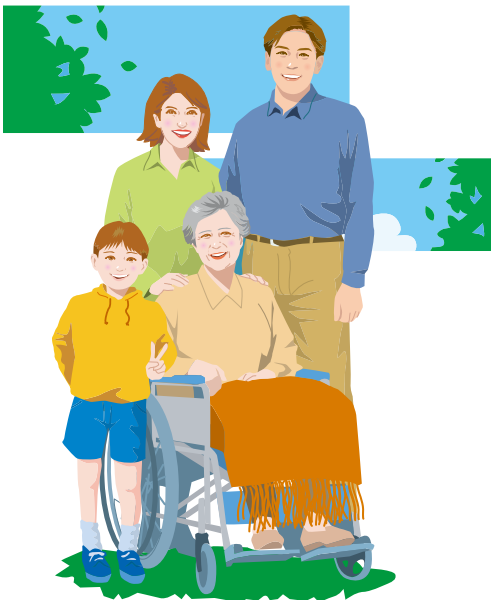
交流分析とは限りませんが、コミュニケーションに関する記事は、今年度中に一度、取り上げたいと考えています。

- ・子供とのコミュニケーションの取り方

今号のFamilyの記事が何かのご参考になれば幸いです。

- ・住宅ローンを組むに当たり知っているとおトクなことがあれば取り上げてほしい。

住宅ローンについては102号（2010年10月号）で掲載しました「アイナンシャル・プランナーの深田晶恵氏による「後悔しない住宅ローンの組み方・見直し方」が参考になると思います。



その他ご意見

・「滞在型市民農園を取り巻く地域活動」の記事が特に印象に残っております。過疎対策、農業振興、地産地消…県、町村の地方公共団体に課された分厚い壁と課題をクリアするべく、「画期的な取組みを通じ宮城と千葉の意外な共通点が伺えました。しかしながら、公の仕事は一人のためにあるべからず。利用者が伸び悩めば、マイノリティのための政策は全体的には通用しくなりません。今後どのようにこの事業を振興、存続していくのか個人的に興味を抱きました。

・滞在型市民農園のアイデアの普及・実践は、現在の農地の荒廃や、懸念される食料不足の対策に役立つと思う。ALPSとしてもその普及を「支援」してもらいたい。

今回の記事が何らかの好影響につながれば幸いです。

・「公務員にマッチする医療保障のツボ」は具体的に良い記事だと思いました。保険にしろ、年金にしろ、自分に関わることになのに、相当の知識を持たないと判断できないように思います。社会保障番号制度が設置されるなら、わかりやすくなるようにしてほしいものです。

・「公務員にマッチする医療保障のツボ」の記事は勉強になりました。「がんの先進医療は考え物」と書かれていましたが、もう少し詳しく聞きたいです。

ファイナンシャル・プランナーの清水香氏による同記事は、通信員の皆様から高い評価をいただきました。誌面が限られるため詳細な内容まで掲載できませんでしたが、さらに詳しく知りたい方には清水香氏の著書が参考になると思います。

・「シングル・ファーザーの子育て」には、大変考えさせられました。働きながらの、父親の子育ては想像を絶する大変さだと、改めて考えさせられました。世の中には、頑張っているお父さんがいるのだなと、再確認いたしました。

・「シングル・ファーザーの子育て」の記事を読んで、もっと積極的に家事に参加しようと思いました。

記事が何らかの行動のきっかけになれば、と思います。

・「三〇代は「強く」あらねば」を読んで、公務員の仕事の可能性は無限大であると思いました。これからは、どんな仕事でも自分で勝手に限界を作らず、何でも挑戦してみたいです。

・「三〇代は「強く」あらねば」のとやまスイーツ研究会は、着々と成果を挙げ素晴らしい。斬新な発想、三〇代の力、他の分野にも活躍を祈ります。

・アンケートの回答について「良かった」「良くなかった」の他に、「興味を持たなかった」という選択肢もあるのではないのでしょうか？私は五〇代なので、「三〇代は「強く」あらねば」という記事には、興味が湧きません。

当誌では、女性職員を取り上げる記事が少ない中であって、本記事は女性たちの活躍ぶりを発信できる貴重な記事となりました。自薦・他薦問いませんので、女性職員の奮闘ぶりをご紹介いただける方のご応募、お待ちしております。ただし、掲載をお約束できるわけではありませんので、予めご了承ください。

また、特定の年代を取りあげた記事におきましても、他の年代の方にも十分参考になるように、今後ともより努力してまいります。

「スギ花粉症の傾向と対策」の記事が良かったです。毎年この季節になると悩まされますが、ちょっとした対策で状況が変わるのも実感しています。自分はスギ花粉症だと思うのですが、他のアレルギーについては考えたことがないので、病院に行って検査してもらおうかと思っています。

花粉症は業務の低下をまねくので、「スギ花粉症の傾向と対策」のような記事により、新しい情報をお知らせいただくことは大変ありがたいので、今後もお願います。

花粉症の治療について、薬の種類・内容や先進医療など、詳細な記事があればうれしいです。

花粉症の方にとっては今年は辛い春ではないでしょうか。その緩和に少しでもお役に立つていればと思います。

・五〇歳半ばに差し掛かり、老後への関心が非常に高くなりました。「世代別ライフプラン講座」の記事にあったように、定年退職以降は健康保険、税金、住まい、保険、資産管理が重要な課題になると思います。現役時代は専門のスタッフが福利関係の手続きをしてくれていますが、退職後は自分で手続きをし、自己責任が問われることになるので、しっかりと勉強し、心づもりも必要だと思いました。

現役時代から定年退職後の生活をイメージし、備えを始めることの必要性を感じていただければ幸いです。

・長文の記事では、冒頭に内容が要約されている「前書き」がないと、読み始めてからその言わんとすることを掴むまでストレスを感じてしまいます。寄稿してもらっている文でも、編集部で2000字程度で「前振り」をつけるなど、工夫されてはいかがでしょうか。

アイデアのご提案ありがとうございます。ですが、編集部で要約をつけて

しまつと、その要約次第で記事を読んでもらえなかつたり、記事に対する誤解を与えることになりかねません。本誌の執筆者は基本的にプロの書き手ではないので読みにくさはあると思いますが、執筆者にご了承の上、できるだけ読みやすくなるよう編集部では可能な限りリライトに努めています。ご理解いただければ幸いです。

・もつと広告とかが入ってもいいので、見やすい構成になればと思います。記事が続くと堅いイメージが強くなってしまつと思ひます。

なるほど、そうですね。本誌では長い記事が多いので限界はありますが、全体として単調な構成にならないよう最大限に努めたいと思ひます。

・いつもためになる記事をありがとうございます。公務員という特殊な仕事上、なかなかライフプランなどは人には相談しにくく、色々なケースを想定した保険の見直しや、ライフプランなどはとても勉強になります。今後の人生に役立てていきたいと思ひます。
・毎号楽しく読ませていただき、2年目の私にはとても勉強になることばかりです。通信員制度を通じて本情報誌の存在を知り、今では貴重な情報源になっています。周囲の方にも回し読みをして、内容についていろいろ話をするようにもなりました。

嬉しいお言葉ありがとうございます。読者の皆さまのご支援を受けながら、今年度もよりよい情報をお届けできるよう努めてまいりたいと思ひます。今年度より年間購読も開始いたしましたので、ご興味のある方はぜひご利用ください。

